

阪堺電軌(株)の沿革(1)

年	月	日	組織・経営関係	路線・ダイヤ関係
1897	M30	5 26	大阪馬車鉄道(株)設立免許取得(資本金5万円)	
1900	M33	9 20		天王寺西門前～東天下茶屋間 開通
		11 29		東天下茶屋～上住吉(現・神ノ木)間 開通
1902	M35	12 27		上住吉～下住吉(現・住吉)間 開通
1907	M40	3 29	大阪電車鉄道(株)と改称	
		10 29	浪速電車軌道と改称	
		11		大阪市と軌道および車両の共用契約締結
1908	M41	1 31		馬車鉄道営業廃止、電化工事着工
1909	M42	12 24	南海鉄道(株)と合併、上町連絡線となる	
1910	M43	3 8	阪堺電気軌道(株)設立、社長片岡直輝(資本金300万円)	
		10 1		天王寺西門前～住吉神社前(現・住吉)間 電化複線開通
1911	M44	1 29		市電上本町線開業 玉造線谷町六丁目まで乗入
		8 20		市電谷町線開業 天満橋南詰まで乗入
		12 1		阪堺電気軌道 恵美須町～大小路間 開通
1912	M45	1 12		市電乗入契約解除(2月13日限りで乗入廃止)
		3 5		大小路～少林寺橋間(現・御陵前) 開通
		4 1		宿院～大浜水族館前、少林寺橋～浜寺駅前間 開通
1912	T1	8 26		大浜水族館前～大浜海岸間 開通(大浜支線1.4km全通)
		11 30		浜寺駅前～浜寺終点間 開通
1913	T2	2 14	阪南電気軌道(株)設立	
		7 2		住吉神社前～住吉公園間 複線開通
		7 16	阪堺電気軌道と合併	
1914	T3	4 26		今池～平野間(5.9km) 開通
1915	T4	6 21	阪堺電軌南海と合併	
1916	T5	12 22		浜寺駅前～浜寺終点間 休止
1917	T6	3 15		浜寺駅前～浜寺終点間 廃止
1921	T10	12 21		西門前～天王寺駅前間を譲渡
1924	T13	6		大和川車庫新設
1929	S4	9 1		天王寺駅前～平野間 電車直通運転開始
1944	S19	6 1	関西急行鉄道と合併 近鉄天王寺営業局に所属	
1945	S20	2 10		大浜海岸～大浜北町間 営業休止
1947	S22	6 1	南海電鉄発足	
1949	S24	3 3		宿院～大浜北町間 営業休止
1954	S29	10	女子乗務員廃止	
		6		住吉交差改良
1955	S30	7 16		天王寺駅前～浜寺駅前間 直通運転開始
1957	S32	10 29		綾ノ町～御陵前間 軌道移設工事完了(工事31.10～)
1973	S48	4 16		天王寺駅前～浜寺駅前間 直通運転中止(昼 阪堺7.5 上町平野5分間隔)
1974	S49	7 20	運賃改定、乗切制40円60円、鉄道との共通運賃廃止	
1975	S50		運賃値上げ	
1976	S51	7 1	ワンマン運転開始、普通券廃止	
1979	S54	10 1	阪堺線ワンマン運転開始	ダイヤ改正

阪堺電軌株の沿革（２）

年	月	日	組織・経営関係	路線・ダイヤ関係	
1980	S55	7	7	阪堺電気軌道株設立（資本金4億5千万円）	
		11	19		大浜海岸～大浜北町間 廃止
		11	27		平野線 廃止
		12	1	軌道業を譲受（本社31 計333名）	
1984	S59	6	24		ダイヤ改正（昼 阪堺10 上町6分）
1986	S61	7			701型車両新造（S63/2、H1/1、H2/1、H3/1、H4/1、H5/1、H6/2）
1987	S62	3		南海バスとのフリー券発売開始（そやさかい1日フリー乗車券）	
1988	S63	9	11		ダイヤ改正（昼 阪堺8分）
1989	H1	3		住吉公園 カラオケボックス営業	
		10		回数券 広告開始	
1990	H2	5		回数乗車券 社内発売開始	
1996	H8	7		組織機構並びに就業基準改定、ワンマン手当の廃止	
1997	H9	3		隔日交代制勤務者の勤務形態変更	
		7	6		ダイヤ改正（C新設・朝昼阪 4.5・8上2.5・6分）
1998	H10	3	16	直僱社員1期生9名入社	
		4	1	14名入社	
		4	17		上りモ169我孫子12Pで脱線
		7	2		モ169浜寺駅前で脱線
1999	H11	4		1日フリー券（てくてく切符）発売開始	
		6	6	第1回路面電車まつり	
		7		電車無線導入に伴う地上要員見直し	
		9		技術部門（施設）の業務体制見直し（施設区を廃止し技術課に統合）	
2000	H12	4		阪堺マスコット（はんかいくん）	
		9	17	阪堺100年まつり開催	
		11	6	車両区の業務体制見直し	ダイヤ改正（阪堺昼8 10分）
2001	H13	4	2	堺市に抜本支援要望	
		10		交代係の所要員変更	
2002	H14	3		車両区 工場部門完全外注化	
		6	15	組織変更並びに労働条件変更（給与カット、所要員の削減、社員の転籍）	ダイヤ改正（C廃止・阪堺昼12分間隔）
		7	1	転籍1年前倒実施（42名）	
2003	H15	7	26		上りモ352住吉里道橋で脱線
		3	12	堺市に存廃協議書	
2004	H16	3	31	直僱化による復帰完了	
		6	20		上りモ504住吉DCで脱線
2006	H18	9	11	減資（資本金450 90百万円）	
		2	24	増資（資本金540万円）	
2007	H19	3	28	減資（資本金90百万円）	
		4		中途採用者の賃金表適用の修正（年齢に関わらず高卒新採と同等）	
2008	H20	6	27	南海・阪堺が堺市東西鉄軌道事業経営予定者に決定	
		8	26		下りモ352恵美須7Sで脱線
2009	H21	4		成果算定給導入	
		7	1	通勤定期9km以上運賃値下げ	
2010	H22	7		乗務員の就業基準変更（運転士5名）	
		7	4		天王寺駅前～浜寺駅前間 直通運転再開
2010	H22	2	1	堺市から経営予定者の決定解除と阪堺線堺市内の公有化撤回の申し入れ	